

6月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R6. 5. 31 文京区立本駒込幼稚園



成長と生長を楽しみに

副園長 西郡 千晴

令和6年度も2か月が経ち幼稚園の生活に慣れてきた年少ちゅうりっぷ組の子どもたちは、初めて見るものや園内でまだ行ったことのない場所を見つけるとワクワクしながら探索を楽しんでいます。

明るい緑がまぶしい頃になり、小さな生き物が大好きな年長児が集う玄関横の『ほんこま自然園』。年中組の頃からお馴染みのメンバーが池の中を覗いてみては、小さな発見を喜ぶ声が聞こえてきます。ある日、いつもとは違う可愛らしい声が聞こえてきました。そっと様子も見に行くと、赤い帽子のちゅうりっぷ組2人の姿がほんこま自然園の中に入っては出たり、出では入ったり…。それだけを繰り返しては嬉しそうに笑っていました。初めての場所を見つけてワクワクの気持ちだったのでしょうか。「私も仲間に入れて」と声を掛けると嬉しそうに笑いながら「これなんだろうね」と大きな黄色いレモンの実を指さして見せてくれました。「レモンだね」と言うと「メロンか」と応えます。可愛い言い間違いです。担任時代私が好んで読み聞かせていた「もりのへなそうる」を思い出しました。その話の中でお兄ちゃんの言う言葉を自分も同じように言うけどちょっと違う風になってしまう。自分は大きくなったつもりで得意げに言っているその姿に重なりました。おうちの方と離れて過ごす時間、小さな子どもたちは自分で考えて行動するドキドキワクワク時間をこんな風に過ごしているのかと思うと、きっとお子さんの成長を喜んでいただけるのではないかなと思います。



レモンの木

4、5月にぎやかしく咲いていた花々が、咲き終わり、子どもたちの栽培物も秋の収穫に向けて育てる物に入れ替わりました。咲き終わった花を片付け、栄養を補充した土を作り、新しい種や苗を植える。担任の教育計画により、一連の仕事を経験した子どもたちです。自分で植え付けた植物には思いもひとしおです。水やり、虫や雑草を取り除く等世話をしながら生長を楽しみにする子どもたち。生長を楽しみにする気持ちが育っていることを喜ぶ教職員。これからどうなるのかなという期待が膨らむ日々です。



栽培物も入れ替わりました。
秋の収穫が楽しみ♪



ほんこま自然園
「池の中に何かがいるね」



お向かいのクリーニング屋さんよりいただきました。可愛らしく咲き始めています。